

経営比較分析表（令和3年度決算）

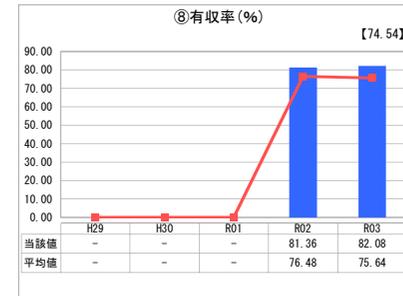
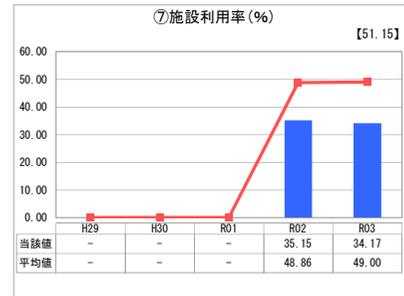
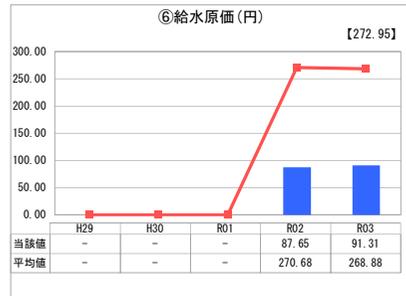
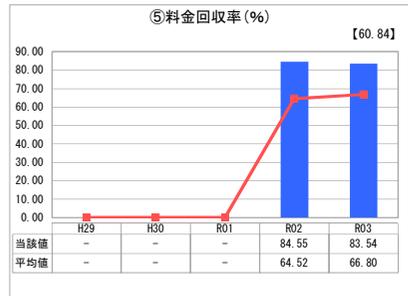
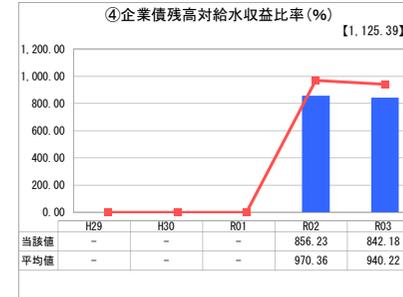
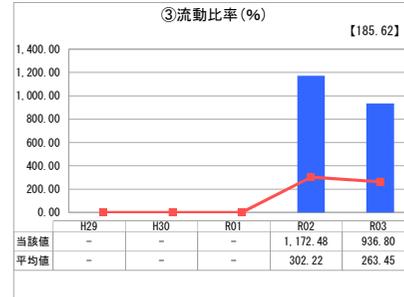
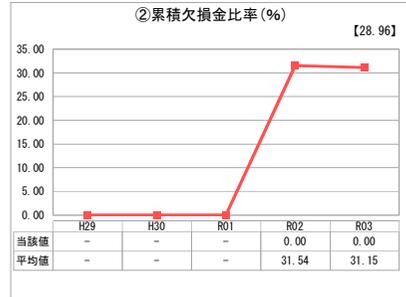
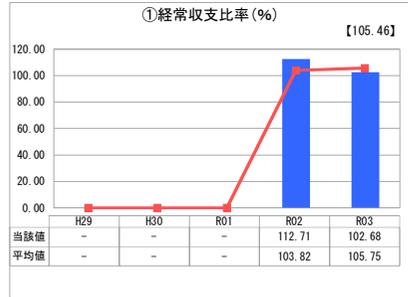
高知県 越知町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	65.39	88.31	1,430	

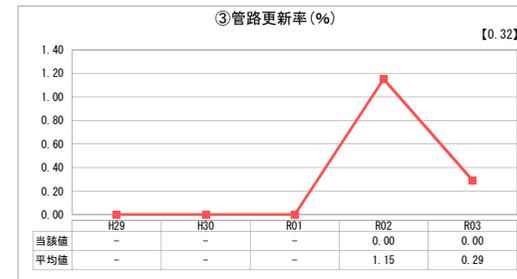
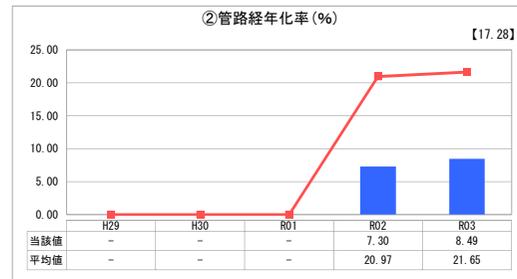
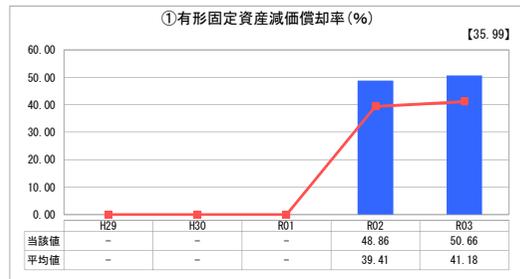
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
5,259	111.95	46.98
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
4,600	4.49	1,024.50

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
[]	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①100%を上回る黒字経営となっているが、類似団体平均を下回っている。
 ②累積欠損金は発生していない。
 ③100%を大きく上回っており、支払能力は十分に備えているといえる。
 ④類似団体と比べ、企業債残高は少ない状態であるが、今後設備更新により増加する見込みである。
 ⑤類似団体と比べ低いということはないが、一部基準外繰入金によって収入不足を補填している。
 ⑥有収水量1㎡あたりの給水原価は類似団体平均よりも低く抑えられており、費用効率が良いといえる。
 ⑦施設利用率は類似団体平均より低くなっており、施設更新の際にはダウンサイジング等を検討する必要がある。
 ⑧類似団体と比べ低いということはないが、引き続き漏水対策等を行い有収率向上に努める必要がある。

◎各指標から、経営の効率性について特に問題はないといえる。しかしながら、給水収益の減少、更新投資の増加等の不安要素を抱えており、繰入金による補填を行っている等、将来を楽観視できる状態ではない。

2. 老朽化の状況について

①減価償却率は類似団体及び全国平均より高く、老朽化が進んでいるといえる。
 ②管路経年率については類似団体等より低い水準となっている。
 ③近年は②の管路経年率等から早急な管路更新の必要性がなかったが、今後基本計画に基づき計画的に管路更新を行っていく必要がある。

◎管路については類似団体と比較して特別に老朽化が進んでいるというわけではないが、今後法定耐用年数を迎える施設の増加が見込まれるため計画的に更新事業を行っていく必要がある。

全体総括

令和2年4月1日、上水道と6法非適簡易水道を統合し、新たに法適用簡易水道事業となったが、各指標が示しているように、現段階では当町水道事業の経営効率は概ね良好で安定しているといえる。また老朽化についても直ちに影響を及ぼす大きな問題はない。しかしながら給水収益の減少により、すでに費用が収益を上回る状態は目前に迫っており、経費削減努力だけでは対応しきれなくなっている。また設備投資に係る財源確保も十分とはいえない状態であり、今後いかにして財源を確保して行くかが重要な課題となっている。